

# ウトナイ湖通信



No.227

2023年4月号

他の植物より一足早く例年4月ごろ咲く、ナニワズの黄色い花

ウトナイ湖は、周囲約9km、面積約275ha、平均水深約0.6mの淡水湖です。鳥類はこれまでに約270種が確認され、ガン・カモ・ハクチョウなどの渡り鳥にとって重要な中継地、越冬地となっています。そのほりにあるウトナイ湖野生鳥獣保護センターから、情報をお届けします。

## お気軽ガイドウォーク in ウトナイ湖

4月9日(日)

10:30~11:30



レンジャーや当センターのボランティアが40分程、屋外でウトナイ湖の自然を案内するガイドウォークです。

(荒天時は館内ガイドウォークに変更)

定員:先着10名程度

小学生以下保護者同伴

事前申込:なし

直接当センターへ

## 第1回野生動物に学ぶ救護セミナー 知っているようで知らないカラスの話

4月23日(日)

10:00~12:00



札幌カラス研究会代表理事の中村眞樹子さんより、カラスの生態や正しい付き合い方などを学びます。

定員:30名 申込先着順

対象:どなたでも

(小学生以下保護者同伴)

事前申込:4/1~4/22の

開館時間に電話で当センターへ

## レンジャーと一緒にウトナイ湖の春の生きもの探し

①4月29日(土)大人向け・子ども参加も可

②4月30日(日)子どもとその家族向け

時間:①②ともに、10:30~12:00

ウトナイ湖オリジナル春の生きもの図鑑を持って、図鑑に載っている生きものをレンジャーと一緒に探しに行きましょう。両日ともに使う図鑑は同じですが、29日は大人向け、30日は子ども向けの行程となっています。

定員:各回20名 申込先着順

対象:①どなたでも(小学生以下保護者同伴)

②中学生以下とその保護者

事前申込:4/1~4/27の開館時間に電話で当センターへ



## 4月のイベント情報

### 市民ギャラリー

## パッチワーク展

会期:3月28日(火)~4月27日(木) 展示:伊藤 道子氏

内容:北海道の生きものを中心としたパッチワークの作品展です。



◆ウトナイ湖野生鳥獣保護センター◆ TEL.0144-58-2231

〒059-1365 苫小牧市植苗156-26 / 道の駅となり

開館時間:午前9時~午後5時 / 入館無料

休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌日)及び年末年始

ラムートくん



~ ウトナイ湖 ~

- ・国指定鳥獣保護区特別保護地区
- ・ラムサール条約湿地
- ・東アジア・オーストラリア地域
- ・フライウェイ・パートナーシップ

ウトナイ湖野生鳥獣保護センター

検索

当センターでは、国指定ウトナイ湖鳥獣保護区とその周辺(苫小牧市行政区域内)において人為的な原因で保護された傷病鳥獣の救護・リハビリを行っています。その活動の一端をご紹介します。



## アカゲラ

原因：車への衝突

体重 59 g



搬入時の様子



保護 2 日目の様子

3月 6日

市内で車に衝突し、飛べずにいたところを保護され、保護センターへ搬送。

頭部を強打しており、左側頭部の陥没および出血が認められた。また、脳神経にも異常が出ており、頭を水平に振り続ける神経症状も見られた。

3月 7日

安静状態にして一晩経過観察した後、治療を開始。

3月 9日

神経症状改善のための内服薬とミルワームの強制給餌をはじめると、回復にいたらず、死亡。

**死亡**

### アカゲラ (キツツキ目 キツツキ科)

全長24cm。オスの成鳥は後頭が赤いのですが、本個体に赤い部分はないことから、メスの成鳥と思われます。平地から山地の森林で1年を通して観察できる種です。幹をつついて昆虫類を食べたり、葉の裏についている昆虫類やカタツムリなどを捕食するほか、木の種子や果実なども採食します。

## トピックス



### アイロンビーズでガン類を作りました

ガン類の飛来に合わせて3月18日にアイロンビーズで、マガン、ヒシクイ、ハクガンから選んで作品を作りました。3種のガン類はそれぞれ顔や嘴の色が違いため、参加者は選んだガン類の配色に合わせて色付きビーズをピンセットで並べ、アイロンの熱で接着しました。今回体験いただきマガンとヒシクイの見分け方もバッチリ!でしょうか。



### 春の渡り鳥ウォッチングを開催

例年3月は越冬地の本州から繁殖地の北を目指して渡るハクチョウ、カモ、ガンなどの仲間が中継地のウトナイ湖に飛来します。これにあわせて観察会を行ない、湖で休むマガモや上空を飛行するオオハクチョウなど12種類の野鳥を確認しました。参加者から人気が高かったのは、魚を狙っていたダイサギや3羽並んでいたアオサギでした。



## ボランティアコーナー

自然に興味を持たれたきっかけは？

野鳥、植物、昆虫、哺乳類と多岐にわたる豊富な自然の知識と長年の自然観察の経験で、当センターのイベントや調査をサポートくださるボランティアの宮本さんに、インタビューしました。

草本や樹木については、登山が好きで高山植物の美しさに惹かれ、鳥類は趣味でバードカービングを制作しているためです。

### 【自然観察を続けて】宮本健市

自然観察はどのくらい続けられていますか？

かれこれ20年になります。他の所属する会のメンバーの中でも古株となりました。



ホオノキの実について解説する宮本氏

これまでに自然の中で印象に残ったできごとや、驚いたことはありますか？

不凍湖である支笏湖が全面凍結して歩けたこと、大雪山の高山植物のお花畑です。

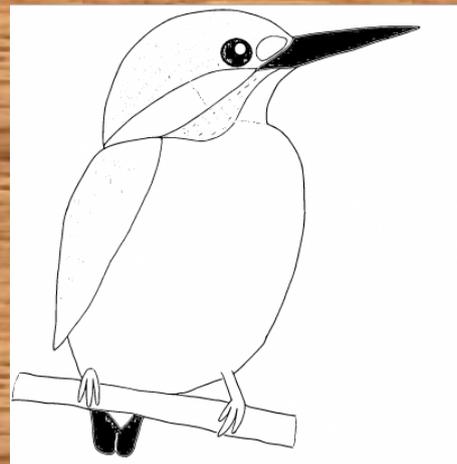
観察会のガイドをする際に、工夫していることはありますか？

人の感覚は85%が目から入るので、高い所に咲いている物は写真を使ったり、色々なグッズを利用したりして、説明しています。

## 【ウトナイ湖・野鳥めぐりえ】

## ウトナイ湖 お楽しみコーナー

ウトナイ湖に  
春に渡ってくる夏鳥の  
「カワセミ」  
に色を入れましょう♪



※北海道では夏鳥ですが、近年北海道内で越冬をする個体も確認されています。

公式 SNS には、ほかにもたくさん情報を載せています！



Instagram



facebook



Twitter



